



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社タチエス 上場取引所 東
 コード番号 7239 URL <https://www.tachi-s.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 雄一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 (氏名)小松 篤司 (TEL)042-546-8117
 定時株主総会開催予定日 2022年6月24日 配当支払開始予定日 2022年6月3日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	206,441	4.0	△4,203	—	△3,536	—	△2,059	—
2021年3月期	198,500	△29.7	△7,753	—	△7,270	—	△13,701	—
(注) 包括利益	2022年3月期 2,689 百万円 (— %)				2021年3月期 △11,923 百万円 (— %)			

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	△60.19	—	△2.8	△2.3	△2.0
2021年3月期	△400.53	—	△17.3	△4.6	△3.9

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 1,339 百万円 2021年3月期 1,018 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	158,997	79,181	45.8	2,129.09
2021年3月期	150,994	78,670	48.0	2,119.67

(参考) 自己資本 2022年3月期 72,862 百万円 2021年3月期 72,538 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	△354	2,006	△812	29,360
2021年3月期	△1,945	△6,326	5,128	27,196

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	6.50	6.50	223	—	0.3
2022年3月期	—	31.80	—	31.80	63.60	2,195	—	3.0
2023年3月期(予想)	—	36.80	—	36.80	73.60		—	

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	248,000	20.1	1,200	—	2,000	—	200	—	5.84

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期	35,242,846 株	2021年3月期	35,242,846 株
② 期末自己株式数	2022年3月期	1,020,382 株	2021年3月期	1,021,032 株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	34,222,246 株	2021年3月期	34,207,182 株

(参考) 個別業績の概要

2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	75,183	△9.5	△5,888	—	△2,852	—
2021年3月期	83,051	△31.9	△2,241	—	△7,600	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	△83.34	—
2021年3月期	△222.18	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	92,307	47,186	51.1	1,378.82
2021年3月期	88,655	52,107	58.8	1,522.64

(参考) 自己資本 2022年3月期 47,186百万円 2021年3月期 52,107百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種によりコロナとの共生が進むなか、一部に回復の動きが見られたものの、半導体不足の影響や、物流費・原材料価格の高騰により、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外におきましては、経済活動の段階的な再開により回復の兆しが見られたものの、2021年末からの感染急拡大、中国の不動産市場の冷え込みや、ゼロコロナ政策下の経済活動抑制、ロシアのウクライナに対する軍事侵攻の影響等、こちらも先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、世界の自動車販売台数がコロナ危機前の水準へ回復傾向にあるものの、世界的な半導体不足による生産活動の停止により、国内の新車販売台数は2011年以来となる450万台を割り込みました。

また、カーボンニュートラルを中心とした環境問題への取組みの動きが急激に加速し、自動車業界は電動化を加速させ、電気自動車(EV)の新車販売台数が初めてハイブリッド車(HV)を上回りました。

当連結会計年度の主な活動といたしましては、日本・中南米・北米を中心に構造改革をはじめとする収益構造の改善、モノづくり競争力の強化によるコスト低減活動に取り組み、事業のスリム化・効率化、徹底的なコスト低減をグローバルで進め、収益性向上に努めております。また、3つの”シンカ”「深化」「進化」「新化」により事業ポートフォリオを変革すべく、「深化」ではフロントシートの骨格であるTTK-Xフレームや機構部品、トリムカバー、一体発泡といった部品ビジネスの受注が決まり量産に向けた活動が始まっております。「進化」では空間プロデューサーとして異業種とのコラボレーション活動を進め、将来モビリティにおける新しい空間体験価値の企画・提案を行っており、「新化」では新組織を発足し、オープンイノベーション活動をスタートさせました。また、カーボンニュートラルへの取り組みとしては中国、メキシコで太陽光発電パネルを設置し、国内では既に稼働している技術モノづくりセンターに加え複数の工場への導入に向け取り組んでおります。

このような経営環境のもと、当連結会計年度における業績は、売上高は2,064億4千1百万円と前年同期比4.0%増となり、これに伴い営業損失は42億3百万円(前年同期は営業損失77億5千3百万円)、経常損失は35億3千6百万円(前年同期は経常損失72億7千万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は20億5千9百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失137億1百万円)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等の適用により、売上高は228億2千4百万円減少しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日 本)

売上高は807億6千3百万円(前年同期比8.7%減)、営業損失は16億8千4百万円(前年同期は営業損失22億3千6百万円)となりました。

なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は228億2千4百万円減少しております。

(北 米)

売上高は384億9千2百万円(前年同期比31.0%増)、営業損失は24億5千4百万円(前年同期は営業損失21億8千2百万円)となりました。

(中 南 米)

売上高は514億円2千万円(前年同期比24.9%増)、営業損失は16億2千7百万円(前年同期は営業損失40億1千万円)となりました。

(欧 州)

売上高は11億1千万円(前年同期比89.1%増)、営業利益は1億3千3百万円(前年同期比350.0%増)となりました。

(中 国)

売上高は326億2千9百万円(前年同期比13.5%減)、営業利益は19億6千9百万円(前年同期比73.1%増)となりました。

(東南アジア)

売上高は20億2千5百万円(前年同期比74.8%増)、営業損失は3億4千2百万円(前年同期は営業損失6億6千1百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、1,589億9千7百万円と前連結会計年度末に比べ80億3百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が22億8千8百万円、原材料及び貯蔵品が34億1千5百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は、798億1千6百万円と前連結会計年度末に比べ74億9千2百万円増加しております。これは主に、支払手形及び買掛金が22億7千1百万円増加したことに加え、長期借入金からの振替を除いた短期借入金の増加が36億8千万円であったことによるものであります。

純資産合計は、791億8千1百万円と前連結会計年度末に比べ5億1千1百万円増加しております。これは主に、利益剰余金が33億7千8百万円減少したものの、為替換算調整勘定が45億4千2百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、293億6千万円と前連結会計年度末に比べ21億6千3百万円(8.0%)増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、3億5千4百万円であり、前連結会計年度と比べ15億9千1百万円(81.8%)減少しました。これは主に、税金等調整前当期純損失が前連結会計年度と比べ123億3千8百万円改善したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、20億6百万円であり、前連結会計年度と比べ83億3千3百万円(前連結会計年度は63億2千6百万円の使用)増加しました。これは主に、有形固定資産の売却により43億7千9百万円、投資有価証券の売却により12億8百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、8億1千2百万円であり、前連結会計年度と比べ59億4千1百万円(前連結会計年度は51億2千8百万円の調達)増加しました。これは主に、短期借入による資金の調達が49億4千5百万円減少したことによるものであります。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率(%)	51.0	52.5	52.7	48.0	45.8
時価ベースの自己資本比率(%)	36.6	31.5	20.7	27.2	21.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(倍)	0.6	6.8	56.8	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	1,006.7	32.5	0.6	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1)いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2)株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3)キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4)有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

世界経済の見通しは、新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念や地政学的リスクの高まりなど依然として不透明なままであり、当社グループが属する自動車業界においても、半導体不足や感染症等の影響による自動車生産計画の急激な変動、原材料価格や物流費の高騰など、足もとの事業環境は厳しさを増しています。このような状況のもと、2023年3月期の連結業績予想につきましては、足もとでの得意先自動車メーカーの生産状況などを鑑み、以下のとおり見込んでおります。

(単位：百万円)

	次期の見通し (2023年3月期)	当期の実績 (2022年3月期)	当期と次期の増減率
売 上 高	248,000	206,441	20.1%
営 業 利 益	1,200	△4,203	—%
経 常 利 益	2,000	△3,536	—%
親会社株主に帰属 する当期純利益	200	△2,059	—%

(注1) 上記の業績予想の前提とした主要な為替レートは、1米ドル＝125円、1メキシコペソ＝6円、1中国人民元＝19円であります。

(注2) 上記の業績予想は、当社が現時点において合理的と判断した一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分に関する基本方針は、主たる配当の財務指標としてDOE（連結自己資本配当率）を採用するとともに、キャッシュフロー、中長期的に健全な財務基盤の維持などを総合的に勘案し、2024年度にDOE4%を目標として積極的な株主還元を実施していくこととしております。

なお、当社は、取締役会の決議をもって剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めており、中間、期末の年2回、配当を行うことを基本としております。

2022年3月期の期末配当金は、本日開催の取締役会決議により、1株当たり普通配当31.8円とさせていただきます。これにより、既に実施しております中間配当金1株当たり31.8円と合わせまして、当期の年間配当金は63.6円となります。

また、次期の1株当たり年間配当金につきましては、普通配当73.6円（中間36.8円、期末36.8円）を実施する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の情勢等を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,757	32,046
受取手形及び売掛金	39,327	-
受取手形	-	3,715
売掛金	-	36,164
有価証券	-	361
商品及び製品	2,110	2,666
仕掛品	731	749
原材料及び貯蔵品	9,839	13,254
その他	5,235	5,077
貸倒引当金	△789	△42
流動資産合計	86,213	93,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,492	11,257
機械装置及び運搬具(純額)	11,571	10,898
土地	7,817	6,565
建設仮勘定	1,802	3,717
その他(純額)	4,527	4,317
有形固定資産合計	37,212	36,756
無形固定資産		
のれん	32	-
その他	1,335	1,302
無形固定資産合計	1,368	1,302
投資その他の資産		
投資有価証券	13,711	12,733
長期貸付金	6	11
繰延税金資産	3,806	4,703
退職給付に係る資産	1,093	1,175
その他	7,659	8,748
貸倒引当金	△78	△427
投資その他の資産合計	26,200	26,944
固定資産合計	64,780	65,003
資産合計	150,994	158,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,277	34,549
短期借入金	9,819	15,499
リース債務	-	787
未払法人税等	447	916
未払費用	7,851	8,744
その他	4,847	4,584
流動負債合計	55,243	65,081
固定負債		
長期借入金	8,500	6,500
リース債務	-	2,242
繰延税金負債	3,845	3,126
役員退職慰労引当金	8	11
株式給付引当金	103	191
退職給付に係る負債	1,464	1,698
資産除去債務	-	247
その他	3,158	718
固定負債合計	17,080	14,734
負債合計	72,324	79,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,040	9,040
資本剰余金	8,700	8,713
利益剰余金	50,664	47,285
自己株式	△1,451	△1,462
株主資本合計	66,954	63,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,967	1,215
為替換算調整勘定	3,396	7,938
退職給付に係る調整累計額	220	131
その他の包括利益累計額合計	5,584	9,285
非支配株主持分	6,131	6,318
純資産合計	78,670	79,181
負債純資産合計	150,994	158,997

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	198,500	206,441
売上原価	188,938	193,573
売上総利益	9,561	12,867
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	6,034	5,962
退職給付費用	142	68
役員退職慰労引当金繰入額	2	2
発送運賃	1,729	2,038
減価償却費	1,200	866
貸倒引当金繰入額	623	30
その他	7,584	8,102
販売費及び一般管理費合計	17,315	17,071
営業損失(△)	△7,753	△4,203
営業外収益		
受取利息	232	308
受取配当金	169	212
持分法による投資利益	1,018	1,339
雑収入	825	583
営業外収益合計	2,244	2,443
営業外費用		
支払利息	271	288
為替差損	1,189	818
雑支出	299	669
営業外費用合計	1,760	1,776
経常損失(△)	△7,270	△3,536
特別利益		
固定資産売却益	3	3,042
投資有価証券売却益	107	1,158
特別利益合計	111	4,201
特別損失		
固定資産処分損	271	108
減損損失	3,158	684
子会社清算損	-	386
特別退職金	2,394	146
事業構造改善費用	-	110
投資有価証券評価損	7	-
関係会社出資金評価損	120	-
特別損失合計	5,952	1,436
税金等調整前当期純損失(△)	△13,110	△772
法人税、住民税及び事業税	1,183	1,803
法人税等調整額	△967	△830
法人税等合計	215	973
当期純損失(△)	△13,326	△1,745
非支配株主に帰属する当期純利益	375	314
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△13,701	△2,059

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純損失(△)	△13,326	△1,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,441	△751
為替換算調整勘定	△360	4,090
退職給付に係る調整額	173	△89
持分法適用会社に対する持分相当額	148	1,184
その他の包括利益合計	1,402	4,434
包括利益	△11,923	2,689
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△12,422	1,641
非支配株主に係る包括利益	498	1,047

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,040	8,700	64,812	△1,498	81,055
当期変動額					
剰余金の配当			△447		△447
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△13,701		△13,701
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				47	47
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△14,148	47	△14,101
当期末残高	9,040	8,700	50,664	△1,451	66,954

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	525	3,743	47	4,316	6,608	91,980
当期変動額						
剰余金の配当						△447
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△13,701
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						47
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,441	△347	173	1,267	△477	790
当期変動額合計	1,441	△347	173	1,267	△477	△13,310
当期末残高	1,967	3,396	220	5,584	6,131	78,670

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,040	8,700	50,664	△1,451	66,954
当期変動額					
剰余金の配当			△1,318		△1,318
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△2,059		△2,059
自己株式の取得				△256	△256
自己株式の処分		12		245	257
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	12	△3,378	△11	△3,377
当期末残高	9,040	8,713	47,285	△1,462	63,577

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,967	3,396	220	5,584	6,131	78,670
当期変動額						
剰余金の配当						△1,318
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△2,059
自己株式の取得						△256
自己株式の処分						257
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△751	4,542	△89	3,701	187	3,888
当期変動額合計	△751	4,542	△89	3,701	187	511
当期末残高	1,215	7,938	131	9,285	6,318	79,181

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△13,110	△772
減価償却費	6,708	5,631
減損損失	3,158	684
のれん償却額	10	10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	517	△406
受取利息及び受取配当金	△401	△520
支払利息	271	288
持分法による投資損益 (△は益)	△1,018	△1,339
固定資産処分損益 (△は益)	267	△2,933
投資有価証券売却損益 (△は益)	△107	△1,158
売上債権の増減額 (△は増加)	2,054	2,462
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,049	△2,946
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,859	△351
その他	236	291
小計	△2,221	△1,059
利息及び配当金の受取額	1,649	2,287
利息の支払額	△210	△268
法人税等の支払額	△1,163	△1,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,945	△354
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,335	△523
定期預金の払戻による収入	876	562
有形固定資産の取得による支出	△4,927	△3,994
有形固定資産の売却による収入	63	4,442
投資有価証券の取得による支出	△351	△580
投資有価証券の売却による収入	274	1,482
その他	△926	618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,326	2,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,337	3,392
長期借入金の返済による支出	△1,000	△1,000
自己株式の増減額 (△は増加)	47	1
自己株式の取得による支出	△0	△0
非支配株主への配当金の支払額	△975	△860
配当金の支払額	△447	△1,317
その他	△832	△1,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,128	△812
現金及び現金同等物に係る換算差額	410	1,323
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,732	2,163
現金及び現金同等物の期首残高	29,929	27,196
現金及び現金同等物の期末残高	27,196	29,360

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は次のとおりです。

当社グループは、得意先から仕入れた部品及び原材料(以下「有償支給品」という。)に対し、加工を行った上で仕入価格に加工費等を上乗せした製品を当該得意先に対して販売する取引(以下「有償支給取引」という。)を行っております。収益認識会計基準等の適用により、有償支給元が実質的に有償支給品を買い戻す義務を負っている場合には、有償支給取引に係る「売上高」と「売上原価」について総額表示ではなく、当該取引の加工費等を「売上高」で純額表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。なお、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の期首の利益剰余金に累積的影響額はありません。

この結果、当連結会計年度の売上高は22,824百万円、売上原価は22,824百万円それぞれ減少しております。

また、収益認識会計基準等の適用により、有償支給品並びに製品に含む有償支給品の棚卸高を「原材料及び貯蔵品」並びに「商品及び製品」として表示せず、流動資産の「その他」として表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車座席及び座席部品を製造・販売しており、各社ごとに事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、各社別のセグメントから構成されております。なお、経済的特徴等が概ね類似している事業セグメントを集約した結果、「日本」、「北米」、「中南米」、「欧州」、「中国」、「東南アジア」の6つを報告セグメントとしております。

報告セグメントのうち、「日本」では、自動車座席及び座席部品のほか、不動産賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日 本	北 米	中 南 米	欧 州	中 国	東 南 ア ジ ア	計		
売上高									
外部顧客 への売上高	88,476	29,373	41,179	587	37,725	1,158	198,500	—	198,500
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,207	369	2,977	840	5,140	703	13,239	△13,239	—
計	91,684	29,742	44,156	1,427	42,866	1,862	211,740	△13,239	198,500
セグメント利益 又は損失(△)	△2,236	△2,182	△4,010	29	1,137	△661	△7,922	168	△7,753
セグメント資産	102,201	41,264	29,587	2,461	32,233	5,331	213,079	△62,084	150,994
その他の項目									
減価償却費	2,900	667	1,478	9	1,485	166	6,708	—	6,708
のれんの償却額	—	—	—	—	10	—	10	—	10
持分法適用会社 への投資額	2,506	4,299	—	—	1,815	—	8,620	—	8,620
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	2,358	604	1,127	—	622	77	4,789	—	4,789

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間債権の消去等によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	日 本	北 米	中 南 米	欧 州	中 国	東 南 アジア	計		
売上高									
顧客との契約か ら生じる収益	80,763	38,492	51,420	1,110	32,629	2,025	206,441	—	206,441
外部顧客 への売上高	80,763	38,492	51,420	1,110	32,629	2,025	206,441	—	206,441
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,763	670	3,442	1,003	9,458	1,035	19,373	△19,373	—
計	84,526	39,163	54,863	2,114	42,088	3,060	225,815	△19,373	206,441
セグメント利益 又は損失(△)	△1,684	△2,454	△1,627	133	1,969	△342	△4,007	△196	△4,203
セグメント資産	113,888	45,202	33,496	2,584	31,773	5,115	232,060	△73,062	158,997
その他の項目									
減価償却費	2,043	665	1,342	15	1,395	168	5,631	—	5,631
のれんの償却額	—	—	—	—	10	—	10	—	10
持分法適用会社 への投資額	3,031	4,453	—	—	1,940	—	9,425	—	9,425
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	2,389	277	1,046	—	307	483	4,503	—	4,503

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間債権の消去等によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,119円67銭	1株当たり純資産額	2,129円09銭
1株当たり当期純損失(△)	△400円53銭	1株当たり当期純損失(△)	△60円19銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純損失については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当社は「取締役向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入しております。株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する当社株式は、1株当たり当期純損失の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。なお、信託にかかる期中平均株式数は次のとおりであります。

・取締役向け株式交付信託

期中平均株式数：前連結会計年度 42,900株、当連結会計年度 57,546株

期末株式数：前連結会計年度 42,900株、当連結会計年度 90,500株

・従業員向け株式交付信託

期中平均株式数：前連結会計年度 178,997株、当連結会計年度 205,883株

期末株式数：前連結会計年度 164,298株、当連結会計年度 300,198株

3 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△13,701	△2,059
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(百万円)(△)	△13,701	△2,059
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,207	34,222

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,645	5,758
受取手形	5	-
電子記録債権	2,264	2,634
売掛金	16,909	17,914
商品及び製品	286	278
仕掛品	1,919	2,775
原材料及び貯蔵品	2,133	3,763
前渡金	914	1,171
前払金	1,612	1,394
短期貸付金	5,728	15,269
その他	851	1,180
貸倒引当金	△3,954	△11,119
流動資産合計	34,315	41,021
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,708	4,407
構築物(純額)	109	90
機械及び装置(純額)	1,279	1,059
車両運搬具(純額)	5	3
工具、器具及び備品(純額)	403	332
土地	4,816	3,435
建設仮勘定	33	42
有形固定資産合計	11,356	9,370
無形固定資産		
ソフトウェア	487	469
その他	16	16
無形固定資産合計	503	485
投資その他の資産		
投資有価証券	8,753	7,417
関係会社株式	24,680	24,680
出資金	0	0
関係会社出資金	8,564	8,564
従業員に対する長期貸付金	3	6
長期前払費用	13	6
前払年金費用	157	267
その他	312	491
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	42,480	41,430
固定資産合計	54,340	51,286
資産合計	88,655	92,307

(単位:百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	70	11
電子記録債務	1,811	1,919
買掛金	12,938	13,952
短期借入金	7,074	11,665
1年内返済予定の長期借入金	1,000	2,000
関係会社短期借入金	966	4,598
未払金	241	157
未払費用	1,927	2,181
未払法人税等	117	218
預り金	75	83
設備関係支払手形	84	118
前受収益	31	31
その他	60	22
流動負債合計	26,398	36,962
固定負債		
長期借入金	8,500	6,500
繰延税金負債	943	648
株式給付引当金	103	191
資産除去債務	-	247
その他	602	571
固定負債合計	10,149	8,159
負債合計	36,548	45,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,040	9,040
資本剰余金		
資本準備金	8,592	8,592
その他資本剰余金	-	12
資本剰余金合計	8,592	8,604
利益剰余金		
利益準備金	480	480
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	20	20
別途積立金	15,000	15,000
繰越利益剰余金	18,459	14,289
利益剰余金合計	33,960	29,790
自己株式	△1,451	△1,462
株主資本合計	50,142	45,972
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,965	1,213
評価・換算差額等合計	1,965	1,213
純資産合計	52,107	47,186
負債純資産合計	88,655	92,307

(2) 損益計算書

(単位：百万円)		
	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	83,051	75,183
売上原価		
製品期首棚卸高	339	286
当期製品製造原価	78,242	71,232
合計	78,582	71,519
製品期末棚卸高	286	324
製品売上原価	78,295	71,194
売上総利益	4,756	3,988
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	1,723	1,730
役員報酬	166	225
賞与	173	160
退職給付費用	37	52
発送運賃	944	953
試験研究費	819	642
貸倒引当金繰入額	212	-
減価償却費	420	268
その他	1,806	1,745
販売費及び一般管理費合計	6,305	5,779
営業損失(△)	△1,549	△1,790
営業外収益		
受取利息	57	234
受取配当金	2,835	3,287
為替差益	7	-
雑収入	197	309
営業外収益合計	3,097	3,831
営業外費用		
支払利息	58	114
為替差損	-	454
貸倒引当金繰入額	3,708	7,310
雑支出	22	48
営業外費用合計	3,789	7,929
経常損失(△)	△2,241	△5,888
特別利益		
固定資産売却益	0	3,004
投資有価証券売却益	107	1,158
特別利益合計	107	4,163
特別損失		
固定資産処分損	42	17
減損損失	2,745	529
事業構造改善費用	-	22
投資有価証券評価損	7	-
関係会社出資金評価損	120	-
特別退職金	2,108	-
特別損失合計	5,024	569
税引前当期純損失(△)	△7,158	△2,294
法人税、住民税及び事業税	369	522
法人税等調整額	72	34
法人税等合計	441	557
当期純損失(△)	△7,600	△2,852

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
						圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	9,040	8,592	—	8,592	480	20	15,000	26,507	42,008
当期変動額									
剰余金の配当								△447	△447
当期純損失（△）								△7,600	△7,600
圧縮記帳積立金の取崩						△0		0	—
自己株式の取得									
自己株式の処分									
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△0	—	△8,047	△8,047
当期末残高	9,040	8,592	—	8,592	480	20	15,000	18,459	33,960

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,498	58,142	523	523	58,666
当期変動額					
剰余金の配当		△447			△447
当期純損失(△)		△7,600			△7,600
圧縮記帳積立金の取崩		—			—
自己株式の取得	△0	△0			△0
自己株式の処分	47	47			47
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			1,441	1,441	1,441
当期変動額合計	47	△8,000	1,441	1,441	△6,558
当期末残高	△1,451	50,142	1,965	1,965	52,107

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
						圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	9,040	8,592	—	8,592	480	20	15,000	18,459	33,960
当期変動額									
剰余金の配当								△1,318	△1,318
当期純損失（△）								△2,852	△2,852
圧縮記帳積立金の取崩						△0		0	—
自己株式の取得									
自己株式の処分			12	12					
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	12	12	—	△0	—	△4,170	△4,170
当期末残高	9,040	8,592	12	8,604	480	20	15,000	14,289	29,790

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,451	50,142	1,965	1,965	52,107
当期変動額					
剰余金の配当		△1,318			△1,318
当期純損失(△)		△2,852			△2,852
圧縮記帳積立金の取崩		—			—
自己株式の取得	△256	△256			△256
自己株式の処分	245	257			257
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△751	△751	△751
当期変動額合計	△11	△4,169	△751	△751	△4,920
当期末残高	△1,462	45,972	1,213	1,213	47,186